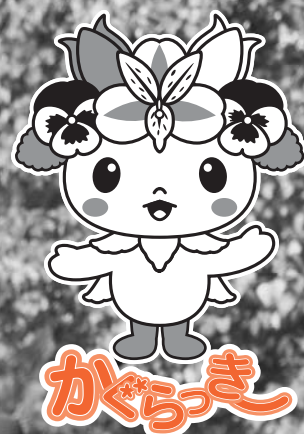


こんにちは

議会だより です

NO. 91

# ひがしかぐら



## 主な内容

第3回定例会 ● 平成28年9月14日～9月15日

- 災害復旧補正
- 決算審査特別委員会
- 臨時会・議長等委員会の動き
- 一般質問 8名
- 各研修

# 7,449万円可決!

**28年度第3回定例議会が9月14日から15日までの2日間開催され、8月に本町を襲った台風による大雨災害の復旧工事費の補正も急ぎよ上程され、可決された。**

平成28年8月20日から23日の4日間の降水量は、東神楽観測所史上第一位の185mmに達し、各所で川の氾濫が発生した。志比内観測所でも一日降水量で127・5mmとなり、史上3番目の記録となった。

町の災害対応状況報告が8月26日、議員協議会でなされ、第3回定例会で補正を出す旨報告されると共に、その間専決処分で応急工事も有り得ると説明がなされ、了承される。



八千代川氾濫（常盤）



水田冠水（稻荷地区）



# 9月定例会 9/14～9/15

## 台風被害 災害復旧工事費



八千代川 大型土のう



稲荷地区 大型土のう



八千代地区 土のう



十二号 ポン川浸食

平成28年9月12日時点の災害復旧調べで、専決処分による応急工事と本復旧件数は24件、補正による復旧工事15件、合計39件、合計事業費7,449万円となり、議会最終日の9月15日全会一致で可決された。

報告の概要は、8月26日に説明があり、雨量、住宅、農業、土木などと、避難所開設状況についての質問と、教訓を引き出し、改善点や要望事項の聞き取りを行なった。

又、大雨災害の対応状況については、時系列一覧表の提出も要請した。

尚、農業被害に対する支援策は、国や道の対応と合せて検討していく事となる。

# 決算審査特別委員会

## 質疑応答



大門 登委員長

### まちづくり推進課

**Q** 町史作成委託料の内、製作費用はいくらか、又何部作成して在庫は何部あるのか。

**A** 3カ年で1500万円の費用がかかり、印刷費は340万円で、500部作成し、町外の方は6000円、町内の方には3000円で販売しています。在庫は420部です。百年史の在庫とセットで割引をしながら販売を促進していきます。



東神楽町百年史

### 税務課

**Q** 軽自動車税デザイン標識導入事業交付実績は。

**A** 税務事務費の消耗品費、84万9593円の中に含まれており、2月1日から交付を始めた。3月31日までに、交付は37件です。



原付自転車用かぐらっきーデザインナンバープレート

### くらしの窓口課

**Q** 交通安全防犯対策費で交通安全対策事業において、みずほ通りの黄色の点滅信号で、徐行せずに通り抜ける車や、止まる車もいる。普通信号と取り替えたらどうか。

**A** みずほ町道9号線は死亡事故が過去何度かおきており、毎年、点滅ではなく、定周期信号機の設置を要望をしています。



みずほ町道9号線

### 健康ふくし課

**Q** 介護保険の制度が変更となるが、当町での準備は万全か。

**A** 介護保険制度については、平成29年4月から新しい生活支援・介護予防事業に移行することになっております。当町は、広域連合構成3町とともに、今の制度から移行する準備を進めています。

### 教育推進課

**Q** 上川教育研修センターの運営負担金55万円となっているが、当該施設がある限り負担しなければならぬのか。

**A** 上川教育研修センターの毎年の運営負担金で、旭川市が60%負担し残りは管内町村で負担しています。負担割合は、均等割、教育職員数割、人口割によって決められ、毎年変わります。



建設水道課

Q 公住の管理人賃金とあるが、これは何か。

A 各公住毎に一名配置し、入居者からの要望を聞いてもらっています。



公営住宅

Q 交通安全優先の道路に改修する計画はないのか。ガードレールや町道の凸凹改修が急がれると思いませんか。

A 道路の点検をし、ストック修繕事業の中で計画を立て、整備を進めていきます。



古い町道

Q 水道メーターの取替えに多額の金額がかかっていますが、部品交換で、できないのか。

A 地下部と地上部両方取り替えています。



水道メーター

地域の元気づくり課

Q 煙突石綿含有量調査委託の結果はどういう状況になったのか。

A 図書館の建材にアスベストが含まれているかどうかという調査をしたが含まれていないと判明した。



図書館の煙筒

委員会審査報告

委員長 大門 登

【総括】

当年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率は、前年度からみて数値的には上向き傾向にあり、総じて健全化に向けた改善の姿勢が認められます。

今後も引き続き、財政健全化に向けた努力を求めます。

なお、財政の弾力性を示す経常収支比率は、依然として町村において妥当とされる70%を大幅に超えております。

人口1万人の町となった当町においても、少子高齢化の問題は避けて通ることはできません。今後も引き続き、費用対効果、緊急性、不可避性等の観点から、既存の事業を再点検することにより、可能な限り無駄を省き、活気ある町づくりを目指すためにも、更なる適切な財政運営を望みます。

以上、執行者におかれましては、本件意見が今後の行政執行、とりわけ次年度の予算編成に十分反映されることを期待し、審査意見と致します。

## 第3回定例会・主な議案

項目	内容
補正予算	一般会計補正予算 国民健康保険特別会計診療施設勘定補正予算 水道事業会計補正予算
物品の取得の件	図書館情報システム
同意	教育委員会委員の任命の件 固定資産評価審査委員会委員の選任の件
報告	財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告 債権放棄の件 決算審査特別委員会審査報告
承認	専決処分の承認の件
認定	平成27年度各会計決算の認定

### 第5回臨時会

日時 平成28年8月12日

議案 平成28年度東神楽町一般会計補正予算

内容 歳入の主な補正  
歳入の主な補正  
予備費を減額して対応  
歳出の主な補正  
中体連大会等参加支援事業  
254万円  
(東神楽中学校吹奏楽部の「日本管楽合奏コンテスト」出場)

### 第6回臨時会

日時 平成28年10月6日

議案 工事請負契約の締結の件  
平成28年度東神楽町一般会計補正予算

内容 公営住宅さくら町団地改修工事  
7020万円

## 議会の動き（6月25日以降）

### 議長・議員等の動向

開催日	開催場所	会議の名称、内容等	出席、参加者等	開催日	開催場所	会議の名称、内容等	出席、参加者等
7月5日	札幌市	全道町村議会議員研修会	議長、議員	8月18日	東川町	3町議会議員交流会	議長、議員
8日	比布町	大雪分会消防訓練大会	議長	19日	美瑛町	上川市、町議会議長会	議長
11日	札幌市	国営緊急農地再編整備事業提案活動	議長	30日	東神楽町	平成28年度定例表彰式	議長、議員
12日	東京都	全国議会広報クリニック	議員	9月2日	東神楽町	地域高規格道路整備推進会議	副議長
14日	東神楽町	行政視察（秋田県美郷町）	議長	2・3日	東京都	東京東神楽会総会	議長
15日	東神楽町	町政懇話会	議長	4日	旭川市	ささき隆博ふるさとの集い	議長
8月3日	東神楽町	行政視察（由仁町）	議長	5日	旭川市	旭川空港開港50周年記念事業実行委員会	議長
5日	東神楽町	戦没者、功労者追悼式	議長、議員	9日	旭川市	旭川空港開港50周年記念事業実行委員会	議長、議員
6日	東神楽町	長島町交流会	議長	10日	東神楽町	旭川空港開港50周年記念式典	議長、議員
7日	東神楽町	第46回花まつり	議長、議員	10月26日	美瑛町	上川管内町村議会研修会	議長、議員

### 委員会

開催日	開催場所	会議の名称、内容等	出席、参加者等	開催日	開催場所	会議の名称、内容等	出席、参加者等
7月11日	委員会室B	議会広報常任委員会	委員長、委員	9月2日	委員会室B	議会運営委員会（第5回）	委員長、委員、議長
15日	委員会室B	議会広報常任委員会	委員長、委員	9日	委員会室B	議会運営委員会（第6回）	委員長、委員、議長
8月12日	委員会室A	議員協議会（第10回）	議長、議員	14日	委員会室B	文教産業常任委員会（第3回）	委員長、委員、ほか
23日	札幌市	全道議会広報研修会	委員長、委員	15日	本会議場	決算特別委員会	委員長、委員
26日	委員会室A	議会協議会（第11回）	議長、議員	10月4日	委員会室A	議会広報常任委員会	委員長、委員
				6日	委員会室A	議会広報常任委員会	委員長、委員

## 意見書

### 第3回定例会 平成28年9月14日～9月15日

9月15日第3回町議会に於いて、次の意見書1件を可決し、政府ならびに関係行政庁に提出しました。

1. 林業、木材産業の成長産業化に向けた施策の充実、強化を求める意見書





### 伊藤一乗 議員

- 1 東神楽町における今回の台風被害農家に対する救済措置は
- 2 当町中央地区北4条通りの貨物運搬車両等による騒音・振動被害

### 竹久 美紀恵 議員

- 1 ふれあい交流館の施設等の改善を
- 2 公営合同墓地の造成進行状況を



### 森國孝芳 議員

- 1 中央市街地の活性化対策について
- 2 防災対策について



### 渡辺一志 議員

- 1 新たな時代に向けた農業戦略は
- 2 健康食育事業を町民運動に



### 大門 登 議員

- 1 高齢者運転免許証自主返納について
- 2 公営住宅東聖団地について



### 山口千春 議員

- 1 水害時対応の問題点について



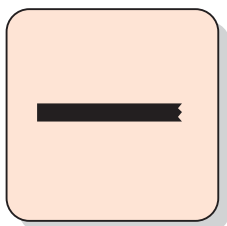
### 中屋豊孝 議員

- 1 平成28年度小麦の収穫などの実績は
- 2 プレミアム商品券のアンケート調査の結果は
- 3 花の町景観づくり条例施行後の成果および事業進行状況は



### 生出 栄 議員

- 1 2016年度の我町の国保料は
- 2 稻荷川、八千代川の氾濫の原因は
- 3 黒塗り議事録は裁判に影響したか



質問・答弁は要約されています  
 質問・答弁内容は質問者が要約した内容を載せています。  
 詳しく知りたい方は、議会事務局とふれあい交流館に会議録がありますのでご利用ください。

第3回定例会では  
 8人が一般質問しました。

伊藤一乗 議員



**問** 今回、当町で観測史上初めての連続台風による被害農家に対する救済措置は

**答** JA東神楽による、被害に対応した支援及び生活支援の融資制度に利子補給を考慮

**質問** 連続した台風の直撃により、当町においてもかつてない大きな被害が出た。

なお、被害を受けた農家の方々には、収穫を目前にご心痛のほど衷心よりお見舞い申し上げます。

今後、役場・行政として被害農家に対してどのような救済ができるのかが緊急の課題である。

お見舞金の支給や補助金等の支給を含めて、その対策をどのように考えているか。

**町長答弁** 今回の台風被害での農業被害などは、JAなど関係団体とも連携して被害調査を行っております。

お見舞金については、これまでの自然災害の対応から現段階では、制度化を考えておりません。

作物は、農業共済事業での対応、水田畔の修復等は関係機関と協議しております。

また、町としてはJA東神楽が行う復旧及び生活支援の融資制度の利子補給を考えております。

**再質問** 今後、被害に対応した生活支援のための基準というものを策定する必要があると考える。

なお、当町の河川の氾濫状況を見ると、ほぼ同じ場所でも被害が発生しており、浚渫や護岸工事もされないまま、付近の住民は常に河川氾濫の危険性を感じております。

危険箇所が特定されている以上、地域住民の不安の解消と安全確保に早急な対策を願いたい。

**町長再答弁** 今回の氾濫河川は、いずれも北海道の管理河川であり、護岸工事・修復等においてすべてを町で行うことは非常に困難な部分もございますが、今後関係機関に対する継続的な交渉とともに、できる範囲で地域住民の安全確保に努めたい。



氾濫河川現場

町道北4条通りの大型車両走行時の騒音・振動対策を

**質問** 北4条通りは、水田を宅地化した地盤の弱い地域で、さらに新

町団地北側に通りを跨いで旧河川の支川があり、コンクリートブロックを埋設しているためその前後の道路が沈下して大きな起伏を生じている。

同通りは、日常的に通り返り抜けの貨物等運搬車両の走行が多く、沿線住民は、その騒音・振動に苦慮しております。

生活用道路である以上、車両の進入を禁止することはできないが、時間規制による標識や入口に通り返り抜けの自粛、速度制限遵守の看板設置等を検討願いたい。

**町長答弁** 町道の段差箇所は、用水路が横断しておりこの高さに合わせて前後の車道路面の縦断勾配を決めていることから、大型車両等が通過する際には、バウンドして騒音・振動が発生しているものと思われます。

町の対策として、工業団地内の企業及び出入り業者に対し、通り抜け自粛を要請するとともに、看板の設置や道路の補修方法について検討してまいります。





竹久美紀恵 議員



問 ふれあい交流館の施設等の改善を

答 支所等の設置も勘案しながら方針を定めてまいります

質問 東聖・ひじり野地区は造成によって人口が増え、子供がいる若い世帯が多くを占めています。スポーツクラブやサークル活動が活発で、利用が増えるにつれて、使いづらさや不便を感じる所があります。

① 図書室と調理室の兼用を止め、個別にする。本の充実。  
② 談話室や飲食のできる、フリースペースを設置。  
③ 家族でスポーツや行事に参加する時に小さな子供を安心して、遊ぶことのできる「キッズルーム」などの設置。

高齢者にやさしい、子育てしやすいまちづくりを目指して頂きたい。

町長答弁 当施設は、東聖・ひじり野地区のコミュニティ活動の拠点施設として、教育・文化・スポーツ・福祉・地域づくりなど、活発に展開されており、人口の増加によるライフスタイルの変化等により、様々な活動利用形態が増えてくると考えております。

再質問 東聖地区の公民館等の役割も担うため、葬祭や町内会の利用も多岐にわたり、ロビーが談話や会議の場所となり混み合うこともありま

す。最近では、図書室を中・高生だけではなく、小学生もテスト前には利用する姿も多く見かける様になり、

環境を整えてあげることが必要ではありませんか。

町長再答弁 施設・整備の充実につきましては、これまでも東聖地区公民館をはじめ、利用団体等からご意見や要望を頂いており、緊急度や予算等を勘案しながら対応しているところであります。

ふれあい交流館が地域住民の皆様にとって利便性の高い、より良い施設となるように努めてまいります。



ふれあい交流館図書室

公営墓地の造成の進行状況を

質問 平成27年度に行われた、公営合葬墓地に関する意識調査を町民

に行った結果、現在の生活のニーズに合った公営合葬墓地を望む声が多いことが分かりました。その後の進行状況は。

町長答弁 平成28年度は新墓園の基本計画を策定することとしています。再質問 用地買収も決定しているとお聞きしていますが。

町長再答弁 用地の買収は決定しておりません。「新墓園基本計画策定委員会」を設置し、7名の委員を委託し、基本計画を進めております。策定委員会は平成29年1月までに5回の開催を予定しており、最終的には3月上旬まで基本計画を策定いたします。



合葬墓

■ 森國孝芳 ■ 議員



**問** 中央市街地の活性化対策は  
どうしますか

**答** 平成29年度を目標に立地適正化  
計画を策定し、平成30年度から  
の事業着手を検討しています

**質問** 平成29年度までに計画を策定するのなら、しっかりと地域住民の声を汲み取るべきです。

森林公園のリニューアル事業のように、気が付いたら町の計画ができていて、すでに事業に着手していた。そう感じている住民が少なくありません。

同じ轍を踏まないでいただきたいが、町長はどう考えますか。

**町長答弁** 指摘の通り、住民の意見を求めたいと考えています。

**再質問** 町道11号道路の交差点傍らにコンビニエンスストアが移転しました。

移転前から同交差点の横断歩道と信号機設置の要望がありました。

開店後、虚しくも交通事故が頻発しました。町長はどう対応しますか。

**町長再答弁** 駐在所の移転が予定されているので、これを念頭に公安委員会と調整します。

防災対策について

**質問** 8月20、21日の豪雨災害に対し、大過なく対応できたかどうか、町長の認識を聞きます。

また、反省すべき点があれば、その内容を示して下さい。

**町長答弁** 大過なく対応できたとは思っていません。反省すべき点が多々ありましたので、これを精査し、今後につなげたいと考えています。

反省すべき点としては、もう少し早い段階から情報収集に努めるべきだったこと、いち早く職員を招集すべきだった、土のう袋が不足し十分な備えがなかったことなどがあげられます。

**再質問** 八千代川の氾濫は以前から指摘され、今回の被害も十分想定されました。

あらかじめ、町内の土木3社に協力を求めるなどして被害を最小にとどめるなどの事前対策が必要だったのではありませんか。

**町長再答弁** 東神楽町建設業協会と、災害時における対応の協定を結んでいました。平常時から、より具体的な内容を確認する必要があると、改めて認識しました。

**再々質問** 今回の場合、特定の1社のみ災害業務を発注しています。1社だけでは災害対応に限界があり、何より不自然です。

あらかじめ土木3社に担当エリアを設けるなどして監視を委託する。

そんな対応が必要ではありませんか。

**町長再々答弁** 今回の災害では、建設業協会との連携が必要であると強く認識しました。今後とも協議したいと考えています。

**再々再質問** 今後に向け、急がれる

のは八千代川の浚渫（しゅんせつ）です。河床に土砂が溜まった状態では、同じ災害が繰り返されます。流域の住民も以前から訴えています。

50年に一度の災害が2年続けて起きることだってあります。

これからは、「初めての経験」とか、「想定外だった」とか言って逃げることはできません。

町費を投入してでも八千代川を浚渫すべきです。町長はどう考えますが、**町長再々再答弁** 緊急事態であれば、町が工事することもできますが、八千代川は北海道の管理です。今後、も浚渫を希望します。



八千代公民館周辺（八千代川）



渡辺一志 議員



問 新たな時代にむけた農業戦略は

答 中長期的な戦略を立てていく

質問 東神楽農業は「高齢化」や「担い手不足」が大きな課題であり「TPP」と「国営緊急農地再編整備事業」という変革をむかえる時に農業者が安心して「やる気」と「やりがい」のもてる農業戦略が必要であると考えるが町長の考えは。

町長答弁 国営緊急農地再編整備事業による基盤整備はもとより、大規模農家、施設園芸農家、若手農業者や高齢農業者が本町農業の多様な品目に蓄積された歴史や技術の活用を把握し、互いに智慧を出し合う体制を関係機関とともに中長期的な戦略を立てて参ります。

再質問 若い担い手は土地利用型の「米」を柱として「麦」・「そば」を体系化した栽培ローテーションのもとで高品質で安心・安全な「おいしい東神楽産品」として、更なる産地化を図る事ができると考えます。

高齢農業者が中心をなしている野菜栽培は、産地として成熟期に入っています。蓄積された技術力をもって「サラダ食材の産地化」を目指すためにJAや「サカタのたね」との連携を図り、志比内産なたね油のサラダドレッシングで新たな時代に向けた戦略とはならないでしょうか。

町長再答弁 地域のブランド化を目指すし、ブランドデザインを作っていく。

く。若い人達が希望のもてる国営緊急農地再編事業による基盤整備や多様な農業の支援を図っていく。地域にある資源を生かし未来に繋げていく様、推進していきます。



稲作収穫風景

健康食育タウン事業を 町民運動に

質問 健康食育タウン事業がスタートする中で、他の事業と連携させ効率的に確実に実行される事により、町民が健康で長生きできる運動として全町民の理解を得た町民運動として実践していく考えは。

町長答弁 事業の展開にあたり、庁内プロジェクトチームを設置し、複数の関係課のメンバーによる推進会議を毎月開催しながら庁内連携を密

に事業を進めます。町民の健康づくりに関する取り組みを総合的かつ計画的に推進し、町民総ぐるみ運動としていきたい。

再質問 健康寿命の延伸は医療費の適正化と軽減化が可能となり、国民健康保険料にも大きく関係してきます。健康を維持・回復するための食事は大変重要であり、食育を推進するためにための具体的方策は。



健康食育タウン事業セレモニー

大 門  
登 議員



**問** 高齢者運転免許証自主返納  
について

**答** 財源を含めてどの様な支援  
がいいか考えていく

**質 問** 75歳以上の運転免許更新制度が来年度から改正されることから、認知症機能検査が施行される。認知症と判断されれば取り消しもありえる。高齢者の交通安全対策や移動手段の確保が懸念される。無理な運転を減らすために、免許証自主返納を促し返納者に優遇制度「バスやハイヤー券等」の割引制度の導入をしては。東川町は65歳以上で免許のない世帯に公共交通の助成を導入しているが、町長はどう考えますか。

**町長答弁** 東神楽町は、70歳から低所得者にスクールバス無料券と旭川電気軌道と道北バスの使用のカード5000円助成と80歳以上の低所得者にハイヤー券とバス料金を選択して、2万円分助成している。東川町は、65歳以上の世帯で免許証及び車のない世帯にハイヤー券とバスカード1万5000円分夫婦世帯で2万2千円分助成されています。早い年齢で免許証を自主返納される高齢者の対応については、将来的に支援できるか財源を含めて考えていきたいと思っています。

**再質問** 移動手段がなくなるとの理由で、運転免許証自主返納に踏み切れない高齢者の現実の声を取り上げている。移動手段を確保し返納を後押しすることで交通事故防止を図るためにも自主的に返納しやすい環境

づくりの支援制度の確立については、法改正によって「認知症」がキーワードとなるので、それらを含めての相談窓口の設置について、どう考えますか。

**町長再答弁** 今後、65歳以上の対応と財源も伴うので返納しやすい方法を次年度に向けて認知症を含めて研究していきたい。

**質 問** 非常に厳しい経済状況の中で持ち家を建てられない方々は、安い公営住宅を求める住民が増えていきます。現在、東聖団地「104」が長期間空き家になっていると疑問の声があります。無駄のない運営をするために積極的に入居者を入れるべきと考えますが、なぜ長期間放置しているのでしょうか。

**町長答弁** 当時の入居者は平成26年11月に明け渡し、修繕費用多額のため損害賠償を請求出来ないか弁護士に相談したが、退去者は資力がなく請求は困難と判断した。この住宅は、昭和56年に建設され耐用年数の2分の1を経過し建て替えの対象であり、当面修繕を見合わせております。

**再質問** 町営住宅は住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃賃貸をする目的です。ひじり野地域に公営

公営住宅東聖団地について



長い間空き家になっている東聖団地「104」号室

住宅44戸で民間賃貸住宅120戸があり、余りにも公営住宅が少ないとの声があります。入居希望者が多くてなかなか当たらないとの苦情もあります。

2点について、お伺いします。

①修繕費用を退去者にいくら位請求したのか。②建て替え対象の住宅で、建て替えまでそのまま放置しておくのですか。

**町長再答弁** ①修繕すると200万円くらいかかる。②多額の費用がかかるので、なかなか踏み切れないが改めて調査をしてできるだけ使える方向で進める。

山口千春 議員



問 水害時対応の問題点について

答 短時間で数力所に及び十分対応できなかった

質問 8月20日の大雨、水害時の町の対応について2点質問します。1点目は河川からの浸水を防ぐために消防団の全分団が出勤し、土のうを作りました。指定された数の土のうを作り終え、各分団の担当地域の巡回を指示されました。その際に土のうを追加作製するのでもう一度署に集まるようにと連絡があり全分団、署に再集合しました。

さて問題はここからです。再集合したのに土のう袋がないということ。作業に取り掛かれず17時過ぎに一旦解散ということになりました。役場に備蓄してあった土のう袋を使い切ってしまったからなのでしょうか。もしそうならばなぜすぐに手配しなかった、できなかったのでしょうか。土のう袋はいったい何枚保管してあったのですか。さらにこの後19時30分過ぎに土のうを作るため招集がもう一度ありました。この時も消防団員に集合メールを送信してから建設会社より土のう袋が届くまで1時間ほど間がありました。土のう袋の手配にどうしてあのように手間取ったのでしょうか。あのような不手際がなく土のうを作製し、現地に運んでいたならば被害を防げたかもしれない農家もいたのではありませんか。説明を求めます。

現在、町の土のう袋の補充は終わって

いますか。一部資機材は役場ではなく消防署を中心に保管しておくべきという意見もありますが今後の対応は。

2点目は防災無線についてですが今回の水害時においてなぜ消防団の招集に無線はしなかったのか。防災無線を使うと広報で町民にも知らせるし、第1回定例会における私の質問でも団員の招集に無線を使うと答弁したはずだがなぜなかったのか。

町長答弁 今回のような短時間で浸水被害が数力所に及んだ場合には、100袋、200袋の土のう袋の保管数では十分に対応できないこと、土のう袋を使い切る前に業者に手配するにしても周辺市町も同じ状況では注文が集中して時間がかかってしまうことを、予め1000袋単位で保管しておくことが必要であると認識したところです。現在土のう袋は3500袋保管し、半数を東消防署に配備しています。大型土のう袋についても200袋購入しました。

防災無線については使用しなかったことを反省しています。

再質問 土のう袋は13時30分過ぎに消防団を招集した時、あの時ですら他のところから調達して集めて東消防署に持ってきたということではないのか。本当にたった200袋

しかなかったのか。土のうの遅れで被害となった農家はいなかったということでは無いのか。

町長再答弁 議員ご指摘の通りそのくらいしか実は備蓄していませんでした。建設業協会の業者の土のう袋等を使いながらやっていました。町としてもしっかりと備蓄をしていく必要があるというのが反省点です。(農家への) 災害を防げたかという点も何とも言えない部分はあるが、可能性はあったのだからと思っています。しかし、それぞれの場その場の対応ということもあり、なかなか難しいと考えています。



土のう袋を設置した被害地域



中屋豊孝 議員



**問** 花の町景観条例の進行状況は

**答** ガーデナーの育成・オープンガーデンの開設に係る育苗センターの充実に努めます

**質問** 本年度町行政執行方針に取り上げている「花の町景観条例」の事業進行状況に大きな関心を持っていて、一方では「オープンガーデン」「花の駅」…一体何がかわりつつあるのかとの声も聞こえます。事業進行状況は。

**町長答弁** 当町の花の町づくりは、自分たちが暮らす環境を、より美しく、より快適にしたいという願いと想いから始まります。

新しい時代にあつた「花の町」を再興するにあたり「ガーデナー」の育成・町民による「オープンガーデン」の開設等により、町全体を花いっぱいにするともに、環境美化と良好な景観形成を融合させ、東神楽町らしい景観づくりを目指したものです。育苗センターの活性化を図り、「花の駅」としてコミュニティの場とし交流人口を増やし、活力あるまちづくりを進めていく予定です。

**再質問** 環境条例施行前から、道道緑地の除草作業等、住民等のボランティアで東神楽を通る人たちに「花の町」としてアピールし、自分たちの環境づくりに取り組んできました。道道改修時に植栽した「桜」「つつじ」10年・20年後は全道一の桜並木の町と期待していましたが、植栽木が枯れてもそのまま放置・数年前に枯れた「桜」にテープを印して調査したよ

うですがそのままです。「花の町環境づくり条例」で表向きの事業は進んでも何ら東神楽の道路は変わっていません。町長の考えは。



道々の枯れた桜並木

**町長再答弁** 道路管理者と今後充分検討し進めます。

**今年度の小麦収穫などの実績は**

**質問** 当町の小麦作付面積はおよそ544・7ヘクタール、うち転作小麦は428・7ヘクタールとお聞きます。連日テレビ・新聞等に報道された「小麦なまぐさ黒穂病」の被害面積・被害金額はどのくらいでしょうか。この病気は生産者は落等や出荷不能となり、所得減収（農業起用最近を含む）となります。その対策は。

**町長答弁** 「小麦なまぐさ黒穂病」は当町でも発生は見たものの、発生株の抜き取りを行ったこと、発病穂は

遅れ募に多いことから、刈り取り位置を上げたこと等の対応により、大きな被害には至りませんでした。

「小麦なまぐさ黒穂病」は発病穂は黒く異臭がし、健全な子実にも胞子を付着させ異臭麦として品質を低下させるもので、伝染経路は種子伝染と土壌伝染があり、汚染種子と汚染土壌の移動により拡大するといわれています。

そのため、発生要因をできるだけ排除する取り組みを生産者・生産者組織・関係機関が連携して行い、小麦産地として蔓延防止を進めてまいります。

**プレミアム商品券の調査結果は**

**質問** 昨年9月の定例会で質問した、プレミアム商品券のアンケート調査結果はいまだに報告されていません。町長は東神楽中央市街地振興策を考えているのか。

**町長答弁** プレミアム商品券の販売により、地域の方々に対し大きな消費をもたらし、町内工商业者への経済効果があつたと考えております。

中央市街地商工振興方策については、商工会などと連携して、地域の特色やニーズを活かした展開に向けた検討を重ねていきたいと思っております。

生 出  
栄 議員



**問** 国保を下げる繰入金はいくらですか

**答** 我町はゼロ円で当麻町・比布町は3,000万円繰入しています

**質 問** 我町の国保料は管内市町村中何番目ですか。又、法定外繰入金  
の状況はどうなっていますか。又、  
国保と健保の差はどの位になってい  
ますか。

**町長答弁** 周辺一市五町一広域連合  
中、一世帯当り19万7340円で4  
番目に高く、一人当り11万3780  
円で3番目に高い町です。

法定外繰入れ状況は、旭川市は16  
億円、当麻町、比布町はそれぞれ  
3000万円、愛別町は1815万  
円、一般会計から繰入れをしています。

国保と協会健保の差は、課税所得  
73万円の場合、国保は15万8700  
円で、協会健保は9万9930円に  
なっています。現在のところ、繰入  
れは考えていません。

**再質問** 我町は、広域連合に入る前  
は一般会計から繰入れをして保険料  
の軽減を実施していました。払いた  
くても払えない程高い国保料を少し  
でも払い易くする努力を広域連合の  
中で議論して下さい。医療費の見込  
みを5%から3%に下げて3年連続  
保険料を下げた事は評価しますが3  
町で1000万ずつ拠出するだけで、  
管内でも住み易い街の仲間入りが出  
来ると考えるが、見解の程は。

**町長再答弁** 保険料を下げる努力と  
して医療費を下げる事が重要と考  
え、それぞれの街が保健事業を通し

て進めていきます。

稲荷川、八千代川の氾濫の  
原因は天災だけなのですか

**質 問** ダムからの導水管の調整は  
適正に行われたのですか。また、ゴ  
ルフ場、空港敷地の調整池の調整と、  
川の浚渫は完了していたのでしょうか。  
また、上流域の水路兼用道路の  
排水量と下流域の河川改修が整って  
いない事にも原因があるのではない  
ですか。志比内川、ポン川の改修が  
終了している事で氾濫は起きていま  
せん。氾濫常習地域の局所改修を強  
力に河川管理者の道に申し入れをし  
ているのですか。

**町長答弁** 8月20日未明に降り始め  
た雨は、町史上1位の雨量となりま  
した。改良区管理の導水管は、午後  
0時30分取水停止、各調整池はオー  
バーフロー管から放水していますが  
今後大型土のう  
袋の常時配備と  
河川改修を引き  
続き強く要望し  
ていきます。ま  
た、ひじり野直  
上部にあるかす  
み堤についても  
調査していきま  
す。



八千代川

黒塗りの議事録は裁判に影響したか

**質 問** 職員懲戒免職処分を決定し  
た会議の議事録が、裁判所にも黒塗  
りで提出されています。裁判に於い  
てこの議事録は一斉審議されてない  
という事になり、裁判に於いて何ら  
影響はないと考えて良いですね。答  
弁願います。

公務外に起きた、被害者もない  
不起訴案件を免職先にありきで処分  
していませんか。何の行為で懲戒免  
職処分か、はっきり答弁してください。  
役場公務の不作为によって町民  
に多大な損害を与えている案件と比  
べても不可解でなりません。

**町長答弁** 旭川地裁から文書送付嘱  
託により提出しましたが、証拠書類  
として取り上げておりませんし、判決  
に影響したかは承知いたしません。  
免職処分理由は地公法第33条違反  
です。町民に損害を与えた公務員に  
関しての質問は、個別の事案の内容  
により、指針に照らしながら判断い  
たします。

**再質問** 裁判の証拠にもなっていない  
ものを何故かくすのですか。まち  
がった判断がのっているからです  
ね。開示を求めます。何の理由で処分  
したのかはつきり示してください。  
**町長再答弁** 万引で逮捕された理由  
です。

# 全国町村議会広報クリニック

7月12日全国町村議会議長会主催の「町村議会広報クリニック」（北海道・東北・関東地区）が、東京都千代田区全国町村議員会館で開催され、東神楽町議会広報常任委員会を代表して参加しました。

この「町村議会広報クリニック」には、48町村が参加し、第一分科会で『吉村潔』講師のクリニックを受け、事前に送付していた議会広報誌をそれぞれ町村・各ページごとにクリニックを受けるというものでした。



## 上川・留萌管内女性議員研修会

8月19日名寄市で第21回女性議員研修会が行われました。

風連町では六次産業に力を入れており、もち米の加工づくりで注目され2012年には「行ってよかつた道の駅」が1位になるなど高い評価を受けています。

名寄市では宗谷・道北各地を運行している名寄総合病院屋上のドクターヘリポートを視察し、その重要性を改めて確認してきました。

この度は、六次産業の難しさや災害対策の必要性などを学ぶ有意義な研修となりました。



名寄副市長・議長の挨拶

## 全道議会広報研修会 開催される

北海道町村会議議長会主催の議会広報研修会が、8月23日札幌市ポルスタール札幌で、全道103町村の参加で開催されました。

東神楽町は、議会広報常任委員会で参加し、議会広報サポーター「芳野政明」氏の講義と町村議会広報のクリニックを受けました。

議会広報の重要性と住民の議会への関心を高め、住民の興味・関心・読者ニーズに応える企画を立て、読みたくなる議会報づくりを行うことと編集技術や工夫の方法を各町村議会広報のクリニックを通じ学びました。

今後の議会広報づくりに貴重な一日となりました。



講師と報告委員

### 表紙の 写真



第1回ひがしかぐらBBQ（バーベキュー）マラソンが10月2日に開催されました。

【3kmコース】ファミリーマラソンには41組（83名）が出場。

【8kmコース】男子の部52名、女子の部48名、計100名が出場。

【15kmコース】男子の部49名、女子の部12名、計61名が出場。

合計244名の出場者が晴れわたる秋空のもと元気に森林公園をスタートし、マラソンを楽しみました。その後バーベキューを囲み交流を深めました。

### 議会広報常任委員会

委員長	渡辺 一志
副委員長	竹久美紀恵
委員	山口 千春
委員	窪田 功
委員	中屋 豊孝
委員	生田 栄